

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エイトバレー松川	階数	13
建設地	広島県広島市南区松川町871-22	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	48人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	365時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2011年6月10日
敷地面積	223 m ²	作成者	
建築面積	172 m ²	確認日	2011年6月10日
延床面積	2,083 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 2.8	スコア = 1.5	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 外壁材の断熱材性に配慮。// 効率の良い照明器具の設置。// 節水トイレの採用。// 低Noxのガス給湯器を採用。	設計の計画上特段に配慮した事項 ピロティや庇などで日陰を形成し、敷地外への熱的な影響を低減している。// 駐輪場の確保。	設計の計画上特段に配慮した事項 耐久性のある配管材を採用。// 個別式の機器を採用や、天井に点検口や吊り下げ装置を設置しているため仕上げ材や躯体を痛めることなく設置可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される